

第6回理事会議事録

財団法人 神奈川県スキー連盟

1. 日 時 平成11年11月10日(水) 19:00～21:00
2. 場 所 神奈川県社会福祉会館 4階 第一研修室
3. 出席理事 会長:河野 洋平、副会長:廣瀬 稔、片岡 春夫、小林 幹夫、
専務理事:山田 隆、常務理事:片 忠夫、水島三千夫、三塚康雄、
勝又敬夫、
理事:越前谷芳隆、早川 博基、平沢 幸一、梶 一成、上田 英之、
本田 衛義、渡辺 三郎、山本 英雄、菊池 勇二、小山 正治、
工藤 政蔵、三井田俊彦、菊池富士夫 (現理事数22名)
うち委任:河野 洋平、片 忠夫、三塚康雄、工藤 政蔵、小山 正治、
三井田俊彦、(6名)

出席監事 岩崎 義隆、生駒 利一

出席参与 なし

4. 議長選出 山田専務理事を指名
5. 議事録署名人選出 早川理事、越前谷理事を選出
6. 書記 守谷紀幸広報委員を指名
7. 議 事

1) 総務本部関係

(1) 報告事項

慶弔関係について

越前谷総務本部理事から、SAK関係では川崎スキー協会の創立60周年記念式典が開催され、浜島雄二専門員の尊父が11月8日に亡くなられた。また、SAJ関係は該当なかったとの報告があった。

資金運用状況について

ア. 現金・預金残高及び支出実績

上田総務本部理事から、10月30日現在の預金残高12,426,817円あり、前月末からは減少している。購入品については、トランシーバー546,000円及びベスト・ゼッケン898,800円である。このところ資金が減少しているが、今後登録料等収入が見込まれる。また、別に60周年として入金をうけたものが5,844,000円あることが報告され了承した。

イ. 事業費関係

本田総務本部理事から、60周年記念行事について、関係各位に心配をかけたことへの陳謝のあいさつがあった後、同事業の収支につき口頭で中間報告がなされ、最終的には、200万円前後の赤字で決算する予測との報告があった。

水島総務本部長から、3月の理事会までに60周年記念行事実行委員会として最終の決算書と報告書を提出し、実行委員会の解散をしたいとの報告があり了承した。

日本財団補助申請結果について

越前谷総務本部理事から、事業名「生涯スポーツとしてのスキー普及の為に講習会と競技会」、補助申請額 5,100,000円で、10月29日に第1次申請資料を提出し、11月8日に追加資料を提出して双方とも受理された。今後、財団のスケジュールに従い審査等が進行し、来年4月に決定通知があり、12年度事業として執行され、翌年3月に事業報告提出となる。現在のところ、ヒアリングの連絡はないが、障害者の参加があると認定されやすいとのことなので、関係資料を提出した状況にある旨の報告があり了承した。

山田専務理事、水島総務本部長から、連盟として、これを社会的弱者に積極的に目を向けていく契機にしたい旨発言があった。

北海道行事参加申込み状況について

早川総務理事から、11月10日現在の参加者が、総数で95名で、特に研修会クリニックと養成講習会の参加者が少ない。昨年実績(総数282名)を上回りたいので、口コミ等での勧誘をお願いしたいとの報告と要請があり了承した。

水島総務本部長から、スノーボード関係の連絡ができていないようなので、競技本部の

ボード関係者に役員も含めて参加の要請があった。また、県民スキースクールへもボードの参加は可能であることが確認された。

広報「SAKだより」等について

平沢総務本部理事から、11月1日の広報委員会及び総務本部会で検討した結果、60周年記念行事の赤字が大きく、同行事の記念誌がSAKだよりの代わりになるなどの理由から、今期のみ発刊を休止したいとの結論に至った旨の報告があり了承した。また、水島総務本部長から、SAKだより発刊費及び送料の合計550,000円を予算流用のため60周年記念誌への費目変更したい旨の提案があり承認した。

平沢総務本部理事から、理事会の議事録作成について、昨期は広報委員会に委嘱状を出して委嘱していたが、今期についても同様に広報委員会に委嘱したいとの提案があり承認した。

登録受付について

証総務本部理事から、受付は11月15日から18日に行い、19日が予備日、川崎が11月25日で横浜は調整中との報告があり了承した。

SAK有資格者ID管理進捗状況について

証総務本部理事から、11月1日にID登録打ち合わせ会議を行い、水島総務本部長以下5名の出席者で現状の分析から今後の課題検討までを行い、次回を11月19日に開催する。今年度も、指導員研修会の名簿の作成を引き続き行うが、若干精度を上げて実技研修会の班編成までを考えているとの報告があり了承した。

(2) 審議事項

移籍関係について

証総務本部理事から、新規・移籍・辞退関連報告に基づき、転入1名、転出1名、辞退1名、新規登録団体7のうち、正式受付1件の審議をしたい旨はかったところ、承認した。

厚木スキー協会ホームページ開設の件について

上田総務本部理事から、厚木スキー協会より本連盟が契約している容量の一部を借用してホームページ開設をしたい旨の依頼があり、テストケースとして、年間10,000円程度の負担金額で今期末まで許可したいとの提案があり承認された。

事業報告書、精算報告書、旅費日当明細書の様式変更について

上田総務本部理事から、別添資料のとおり変更し、基本的にはエクセル、ワード等で記入し、効率化に努めたい旨の提案があり、承認されたが、山田専務理事から教育・競技本部ともシーズン中は繁忙を極めるので、総務本部として相当な援助を願いたいとの要請があった。

座間スキー協会新所属団体と評議員変更の件について

水島総務本部長から、座間スキー協会にSNOW SPORT CLUB 雪蛭が加入した事と、9月に保留にした座間スキー協会の評議員の星野正徳氏への交代についてはかったところ、承認した。

諸料金検討特別委員会委員候補者の推薦について

水島総務本部長から、SAJから諸料金検討特別委員会委員の推薦依頼があり、山田専務理事とも相談のうえ、SAJ評議員のうち片常務理事を同委員として推薦したい旨の提案があり承認した。

役員選考委員会の発足と選考スケジュールについて

片常務理事に代わり水島総務本部長から、来年が役員改選期に当たり、1月初旬に役員選考委員の選出を各協会長に依頼し、2月初めに第1回の役員選考委員会を開催する。そこで各協会に推薦書を依頼し、3月から5月にかけて候補者を選考し、6月の理事会で審議する評議員資料に原稿提出する流れになっている旨報告、確認した。

選考する理事数及び選考方法等の問題があり、これについては常務会にて検討してもらい、3月の理事会で承認する事で了承した。

2) 教育本部関係

(1) 報告事項

指導員養成講習会について

渡辺教育本部理事から、指導員養成講習会参加者は昨年を若干上回っている旨の報告があり、理論講習会には1,000名を超える参加者が見込まれるので、総務本部の協力につき

要請があった。

スキー技術選手権大会について

渡辺教育本部理事から、大会を盛り上げるために、予選のほかに決選を設けることを検討しているが、日程的に厳しいことと予選に落ちた者が帰ってしまう等の懸念があり引き続き検討していくとの報告があった。

(2) 審議事項

J S B A 資格取得者の S A J への資格移行について

渡辺教育本部理事から、相模原及び横浜市協のクラブから計5名の推薦書が提出されており、承認した。

山田専務理事から、資格移行の件については重要な事項であるので、迅速に事務処理を行う旨の指摘があった。

3) 競技本部関係

(1) 報告事項

会議開催関係について

勝又競技本部長から、次の各会議について競技本部理事会資料に併せて説明並びに報告をしたところ、山田専務理事から、委員会等の開催に際しては、事前に専務又は常務理事に開催の通知を行うこと及び委員会等の開催場所については考慮するよう指摘があり了承した。

ア．スノーボード委員会（H11.10.20及び11.4）

イ．アルペン＆マスターズ委員会（H11.10.23）

ウ．計算委員会セミナー（H11.11.3）

エ．競技本部：全専門委員会（H11.10.30）

なお、菊地競技本部理事から、計算委員会セミナー参加者3名はこの後冬季行事に参加し、来年度のS A J 公認計算員講習へ推薦する予定である旨の報告があった。

平成12年度神奈川県総合体育大会冬季スキー競技会要綱変更について

勝又競技本部長から、昨日県教育委員会事務局スポーツ課と打ち合わせを行い、アルペンに関しては県教委の提案どおり年齢区分の変更を実施するが、ノルディックについては、参加人員の少なさから変更を見送り、次年度以降検討して行くことになった旨の報告があり了承した。

平成11年度神奈川県スポーツ優秀選手表彰候補者の推薦について

勝又競技本部長から、スノーボードの井上純平選手を推薦した旨の報告があり了承した。

国体対策選手強化事業について

勝又競技本部長から、平成11年11月21日ザウススキー場において、アルペン合宿が選手16名の参加を得て実施された旨の報告があり了承された。

ポイント計算用備品購入について

勝又総務本部長及び菊池競技本部理事から、パソコンと専用ソフトの購入準備を進めているが、ソフトはセイコー1社しか作成していないため合い見積もりがとれなかったが、講習会等の金額も含まれているとの報告があり了承された。

(2) 審議事項

専門委員用名刺作成について

勝又総務本部長から、全員ではないがS A J 関係等で必要になる専門員に給付したいとの申し出があったが、給付する基準や必要性の面で再検討を要するとして見送った。

4) その他

(1) 専門員の資格等について

山田専務理事から、任期途中で移籍等に伴い正式には専門員の資格を喪失してしまうケースが数件あるが、任期中は資格を継続する形で運用している。他にも喪失に該当するようなケースもあるので、担当の本部長から本人に注意し、弁明等を聞いた後、その処分については常務会にて検討してもらうことで了承した。

(2) スノーボードの有資格者登録について

梶総務本部理事から、登録の方法等について検討しているが、S A K についてはスキーのI D 台帳を準用し、名簿の提出についても難形をつくって検討中である旨の報

告があり、小山競技本部理事と相談をしていくことと了承した。

(3) スノーボード委員会の専門員について

山田専務理事から、藤沢の松崎氏について専門員の認定をはかったところ承認した。

また、その他にも申請が出されるが3月まで理事会が開催されないため、常務会で報告し、理事会で事後承認する形で処理したい旨はかり承認した。

(4) S A J 公認スノーボード講習検定会について

上田総務本部理事から、手続要領に同検定会の記載が漏れていたため、加盟協会あて別途案内を発送した旨報告があり了承した。

(5) 全日本 B 級スノーボード大会について

山田専務理事及び勝又競技本部長から、今シーズン3回開催される全日本スノーボード B 級大会の人手が不足しているので、大会を成功させるためにも各部の協力方について要請があり了承された。

(6) ホームページについて

上田総務本部理事から、各本部から所属加盟団体に通知・案内を出す場合はホームページに同時掲載するので連絡されたい旨の要請があり了承された。

(7) 理事会の資料の統一化について

山田専務理事から、理事会資料の書式の統一化について総務本部で検討するよう指示があった。

(8) カレンダー委員会の設置について

菊池競技本部理事から、来年以降連盟と各市協の行事の期日を調整する機関の設置について提案があり、今後の検討課題としていくことと了承した。

以上、この議事録が正確であることを証明するため、議事録署名人、下記に署名する。

平成 1 1 年 1 2 月 1 4 日

議 長 印

議事録署名人 印

議事録署名人 印